

Online Symposium

誰ひとり取り残さない社会を 目指してー老いと死をめぐる課題ー

単身世帯が増えるなか、ひとりで自宅で最期を迎えたら、なぜ「孤独死」といわれるのか。住み慣れた地域で自分らしく老い、幸せに人生を終えるにはどうしたらいいのか。そのためには社会の仕組み、ジェンダー格差の問題をどのように変革していくべきか。

『おひとりさまの老後』シリーズが大ベストセラーとなった社会学者の上野千鶴子氏をお迎えし、講演会を開催いたします。また僧侶の立場から在宅医療に取り組む大河内大博氏より、地域社会における介護や看取りと寺院の役割についてご紹介いただきます。龍谷大学が推奨する「仏教SDGs」の取り組みの一環として「誰ひとり取り残さない社会を目指して」議論を深める機会にしたいと思っております。



撮影：菅野勝男



【申込方法】

参加をご希望の方は、下記のURLよりお申し込みください。開催前にイベント参加用URLをお申し込み時のE-mail宛にお送りいたします。



URL: <https://forms.office.com/r/6tdkin1jqX>

「在宅ひとり死のススメ」

上野 千鶴子 氏

社会学者、東京大学名誉教授、
認定NPO法人ウィメンズアクション
ネットワーク(WAN)理事長

「地域共生社会のためのお寺の 役割とはーさっとさんの試みー」

大河内 大博 氏

訪問看護ステーション「さっとさんが願生寺」
共同代表 / チャプレン

定員
先着順 **500**名

定員に達し次第、受付終了

日付・場所

日時：
2021年 **12月10日** (金) 13:30 - 16:00

会場：
Zoom ウェビナーによるオンライン開催

【主催・問い合わせ】

龍谷大学
ジェンダーと宗教研究センター

E-mail : grrc-toiawase@ad.ryukoku.ac.jp

龍谷大学は、「地域・社会・世界」の平和のために、様々な人や組織と連携しながら、社会にインパクトを生み出していきます。常に他者を思い、誰一人取り残すことのない社会の実現に寄与していきます。

【共催】 龍谷大学 龍谷エクステンションセンター(REC)
【後援】 龍谷大学 世界仏教文化研究センター 応用研究部門
花園大学 人権教育研究センター